

令和 6 年度学校評価について

村上学園高等学校

【目標設定】

通信制教育の質を高めるために、第三者機関の評価を実施し、今までの教育実践を見直す機会としたい。また、教職員の意識改革やカリキュラムの見直しにも十分につなげていきたいと考えている。

【総評】

今回のアンケート集計は、Web を利用した結果、保護者からの回答が増加し、より精度の高いものとなった。ただし、生徒からの回収割合が6割程度であったので、次年度はやり方を少し考えたい。また、関係者評価の実施の際に、外部の評価者を選定できていないこともあり、次年度以降には関係者評価の充実をはかり、学校の運営状況に関しての意見をより多く集約して、今後の学校の運営方向の見直しにつなげたい。

今後は、自己評価をより精度高く実施し、その評価を基に外部評価が実施できるように、準備していきたいと考えている。

次年度以降の学校評価に向けての取り組み

反省点としては学校評価として職員、生徒、保護者からのアンケートを元に学校改善につなげる形を取っていたが、学校評価ガイドラインに沿った形での学校評価ができていなかった。

令和 7 年度に向けて第三者評価を参考に、大きくカリキュラムや面接指導、添削指導を変更する予定となっている。こうした変更は職員や生徒たちに大きな影響があると考えられているので、ガイドラインに基づいた学校評価をすることにより、しっかりと自己評価および学校関係者評価を実施したい。

以下に、次年度以降、学校評価を実施するために取り組むべき目標を定める。

1. 自己評価に向けての目標設定を定める。
2. 自己評価に対する結果の報告書をまとめる。
3. 学校関係者評価を実施するために外部の人の協力を得て学校関係者評価委員会の設置を目指す。
4. 自己評価に対する結果を基に学校関係者評価を実施する。
5. 学校関係者評価を元によりよい学校を目指し、改善をしていく。

学校評価から PDCA サイクルを目指し、学校改善ができる組織運営を目指す。